

財団法人 庭野平和財団 御中  
コード No.18-NPF-001

**平成 30 年度  
「JANIC 財務基盤強化とネットワーク NGO の  
連携強化のための 3 か年アクションプラン」  
事業完了報告書**

2019 年 5 月 15 日  
国際協力 NGO センター (JANIC)  
作成：伊藤衆子

## 1. プログラムの目的

### 目的

- ・ネットワーク NGO が必要な役割を果たし、日本の各地域において、市民の国際協力活動が活発化すること。

### 目標

- ・JANIC の財政基盤強化のため、将来的な収益事業となる自主事業を立ち上げ、本助成が終了する 2020 年 3 月までに軌道に乗せる。
- ・地域のネットワーク NGO との連携強化を推進する。それにより、NGO の政策環境の改善など、ネットワーク NGO が必要な役割を果たすための基盤をつくる。

## 2. 主な活動内容・スケジュール

### 【主な活動内容】

#### (1) JANIC 国際協力フォーラム (HAPIC) 企画

グローバルな社会課題解決に取り組むアクターが集い、学び、議論し、新しいアイデアやパートナーと  
出会う会議を 2019 年度から毎年開催するための基盤構築の推進。

- ① 会議コンセプトを設定、会議名を「HAPIC（ハピック）－HAPPINES IDEA CONFERENCE」とし、2019 年度第 1 回開催に向けたプレフォーラムを開催
- ② 英米の成功事例研究：InterAction フォーラム（米）、Bond 会議（英）について、国際会議の企画・運営方法の調査を実施
- ③ ワーキンググループ制度の展開を通じたニーズや課題の把握

#### <NGO ワーキンググループ>

NGO の問題・課題について、NGO 同士で情報共有・学習・提言を行う自主的活動。

- ① 情報共有 & 学習タイプ…NGO 間の情報共有、事例研究を行います。
- ② 提言 & 発信タイプ…他セクターに対して提言や情報発信を行います。

目的：NGO 活動の共通事項についてグループの力で問題解決・課題達成を図る。

- ・英国 Bond : 51 グループ（事業運営、反汚職、子どもの権利、人道、企業連携、広報、人事等）
- ・米国 InterAction : 30 グループ（SDGs、G7/G20、CEO、食の安全、WASH、障害、シリア/イラク等）

## (2) インキュベーション・センターの設置 【平成 30 年度助成を受けた活動】

SDGs の達成や、世界の社会的課題を解決するための「市民社会組織（CSOs）」の創業・活動を支援する事業を開始するための環境整備。

- ① JANIC 事務所の改装工事を実施、備品を整備
- ② オフィス利用ルール策定、事務所ビルオーナーとの条件調整
- ③ シュアオフィス事業開始（2018 年 6 月～）
- ④ 2019 年度より「CSO 支援プログラム」を開始するための事業計画検討

## (3) 地域のネットワーク NGO との連携強化

日本の NGO を取り巻く外部の脅威（市民社会スペースの縮小など）、および NGO セクター全体の組織・活動強化のため、地域ネットワーク NGO との連携強化。

- ① 市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANSiS）」設立（2018 年 6 月）。提言、イベント実施
- ② 地域ネットワーク NGO の連携強化策策定
- ③ 地域ネットワーク NGO と JICA の共同アクションプラン（地域連携、人材育成、裾野拡大）の実施
- ④ 地域ネットワーク NGO との個別打合せ実施
  - ・NGO 福岡ネットワーク：9 月
  - ・関西 NGO 協議会：12 月
  - ・名古屋 NGO センター：11 月、1 月
  - ・北海道 NGO ネットワーク協議会/北海道国際交流センター：1 月

### 【スケジュール】

施策	2018 年度上期	2018 年度下期	2019 年度上期 予定	2019 年度下期 予定
(1) JANIC 国際協力フォーラム（HAPIC）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他セクターへの協力依頼</li> <li>・米国 InterAction フォーラムの運営方法調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際協力ミニ・フォーラム実施（半日）</li> <li>・英国 Bond 会議の運営方法調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他セクターへの協力依頼</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HAPIC 開催（1 日）</li> </ul>
(2) インキュベーションセンター・シェアオフィス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査・準備期間（NGO のニーズのヒアリング、家具の設置）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアオフィスの開始</li> <li>・CSO 支援プログラム開発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSO 支援プログラム開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSO 支援プログラム改善</li> </ul>
(3) 地域のネットワーク NGO との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク NGO の連携強化策案の合意</li> <li>・JICA とネットワーク NGO の協働アクションプランの合意</li> <li>・新 NANSiS の立ち上げと提言活動での連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワーク NGO の会議開催（対面、政府との協議会等にあわせて実施）</li> <li>・HAPIC での企画協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CSO 支援プログラムへの企画協力</li> <li>・ワーキンググループ等、他の事業での協力開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HAPIC での企画協力</li> </ul>

### 3. 活動の成果（成果物などがありましたらご紹介ください）

#### （1）JANIC 国際協力フォーラム

- ・将来的な収益事業に向けた自主事業を立ち上げのため、チームを編成し、外部の協力も得て企画した。
- ・会議名称「「HAPIC（ハピック）－HAPPINES IDEA CONFERENCE」およびロゴを作成（広告代理店によるプロボノ）し、プレフォーラムを開催することで、今後の会議開催を関係者に周知できた。
- ・半日のプレフォーラムでは全体会と 4 つの分科会を企画し、目標の参加者人数 150 を達成した。
- ・InterAction フォーラム（米）、Bond 会議（英）の参加、調査、ファンデレイジング大会（日本）のヒアリングを行い、プレフォーラム開催を通して、会議の準備、運営に係る工数、業務項目、予算規模を把握できた。
- ・ワーキンググループ：新規 3 グループを含む 5 つのグループの活動を支援した。

#### <HAPIC プレフォーラム概要>

- ▶ 日時：2019/1/18（金）13:00-17:15 懇親会 17:30-19:30
- ▶ 会場：聖心グローバルプラザ（東京都渋谷区広尾）
- ▶ 参加者数：165 人
- ▶ キーノートセッション  
「私たちの可能性～グローバルイシュー解決に向けて～」
- ▶ ブレイクアウトセッション
  - ①災害から私たちは何を学び、活かすのか～新たな視点と事業の可能性～
  - ②「子どもと若者のセーフガーディング」を我々のスタンダードに～子どもへのあらゆる搾取や不適切行為と戦うために～
  - ③インターネットを超える？ ブロックチェーン技術は国際協力現場で利用できるのか！？
  - ④なぜ日本にはメガ NGO が存在しないのか？～NGO の規模拡大・合併を考える～



#### <NGO ワーキンググループ>

- ▶ 公益法人
- ▶ NGO 組織強化
- ▶ ロビーイング
- ▶ セーフガーディング
- ▶ 開発×テクノロジー

## (2) インキュベーション・センターの設置

### ①シェアオフィスの環境整備

・利用団体を受け入れるにあたり、事務所レイアウトの変更、配線整備、家具、備品を整備した。

・会議室を一つ増やすことで会議利用も可能な改修工事を行った。

・ビルオーナーとの調整及び相談を行った。

※ビルのオーナーの変更（他社との合併）のため、事務所のシェアに関する条件の確認に半年を要した。

ビル側の条件は、利用する団体へのサービスや活動時間への制限が発生し、当初想定していたシェアオフィスとしての展開が難しく、レンタルスペースという形で企画を再検討することになった。

ビル側の条件に沿った形でのレンタルスペース利用団体の正式な募集は 2019 年度に持ち越しとなった。



(レイアウト変更)

### ②シェアオフィスのルール整備

・シェアオフィス・インキュベーション・センターを設置している「NPO サポートセンター」やコアワーキングスペースの調査及びヒアリングを実施。

・事務所利用ルール策定、申込用紙等の整備し、募集準備を行った。

### ③2018 年利用団体詳細

団体名	利用期間	人数	利用目的
(特活) アイキャン	2018/5~2019/4	2 名	東京事務所開設前の仮事務所として利用
NGO 安全管理イニシアティブ	2018/4~継続中	2 名（※内 1 名 JANIC 常勤）	事務所利用及び JANIC の連携
C20	2018/11~2019/6	2 名（※内 1 名 JANIC 常勤）	事務所利用及び JANIC 加盟団体との連携

成果：

・利用団体 3 団体

・シェアオフィス（事務所）の利用のみならず、JANIC と一緒にスペースで業務を行う事で利用団体と JANIC の情報共有を頻繁に行う事ができた。

・JANIC のネットワークを活用した広報や人材交流などを行う事ができた。

### ④インキュベーション機能

・グローバル課題に取り組む CSO の創業・活動を支援する事業の始動に向け、担当者を配置し、NGO へのヒアリング、理事会も含めた検討を行い、「CSO 支援プログラム」として事業を立ち上げ準備を行った。

## 支援内容：

- ・NGO の創業支援や活動の支援を必要とする個人・団体に対し、JANIC や会員メンバー等の事業経験や NGO 運営ノウハウ等を踏まえ、JANIC 理事がメンター（指導・助言）を務め、事務局が日常的なサポートを行いつつ、NGO の創業、活動の支援を行う。

**(3) 地域のネットワーク NGO との連携強化**

- ・市民社会スペース NGO アクションネットワーク（NANSiS）を設立し、セミナーを開催し、外務省/JICA 協議会での報告・提言を行った。

構成団体：北海道 NGO ネットワーク協議会、JANIC、横浜 NGO ネットワーク、名古屋 NGO センター、広島 NGO ネットワーク、NGO 福岡ネットワーク、沖縄 NGO センター

- ・地域ネットワーク NGO 連携強化企画案を提案し、その中で、ネットワークを活用した下記の情報共有、広報協力を実施できた。

外務省/JICA との協議会の議題/参加者募集、市民社会スペース、NGO に関するアンケート実施、イベント開催情報、人員募集

実施団体：沖縄 NGO センター、NGO 福岡ネットワーク、四国 NGO ネットワーク、関西 NGO 協議会、名古屋 NGO センター、にいがた NGO ネットワーク、埼玉国際協力協議会、横浜 NGO 連絡会、北海道 NGO ネットワーク協議会

- ・個別団体との会合、打合せは実施できたが、関係団体が集まる会議開催は実現していない。情報共有以外の連携策については、更なる具体化と連携体制の構築が必要である。

## &lt;地域ネットワーク NGO 連携強化企画案&gt;

1	情報共有・学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メーリングリストで情報共有を行う</li> <li>・年 1~2 回会議開催（オンライン参加含む）</li> <li>・数年後には各組織で会議参加費を予算化する</li> </ul>
2	アドボカシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提言・声明の共同発信のスムーズな体制づくり</li> <li>・共同で外務省、JICA との協議実施（年 1~2 回）</li> <li>・日本の市民社会組織強化を応援するドナー獲得</li> </ul>
3	ワーキンググループ*共同運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員団体が地域ネットワーク横断的に参加できる展開</li> </ul>
4	共同ウェブサイト運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント・研修・求人・NGO 情報を一体化させる</li> <li>・まずはお互いのウェブサイトのリンク設定から</li> </ul>
5	リソース共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材：社労士等専門家、総務や労務等の職員交流、イベント・研修共催によるロジ効率化等</li> <li>・その他：相互サテライトオフィス化、会議室利用等</li> </ul>
6	HAPIC 開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ・分科会設定</li> <li>・参加者募集（招待枠設定、旅費補助）</li> </ul>

- ・地域ネットワーク NGO と JICA の連携のための共同アクションプラン（2 年計画）の 1 年目を実施の進捗報告の情報共有を行い、NGO-JICA 協議会で報告した。

## 4. 今後の課題

### (1) 「HAPIC (ハピック) – HAPPINES IDEA CONFERENCE」

- ・財源の柱とするための協賛・参加者規模を拡大に向けた魅力的プログラムづくり
- ・地域ネットワーク NGO をはじめとする各地の CSO の活動の活性化につながるプログラムづくり
- ・NGO のワーキンググループ制度の発展と、現在個別に行われている会議類（例：JANIC が運営事務局を務める「NGO 労働組合国際協働フォーラム」「企業と NGO の連携推進ネットワーク」）の活動の統合

### (2) インキュベーション・センターの設置

- ・JANIC らしい CSO 支援メニューの開発  
(組織運営面、海外を含めた現場での事業実施に関するアドバイスや情報提供、メンター制度など)
- ・シェア団体の募集、団体支援の開始
- ・新たな国際協力の担い手の発掘

### (3) 地域のネットワーク NGO との連携強化

- ・地域ネットワーク NGO の連携強化策の具体化と具体策の提案。
- ・継続的な関係構築と、個別会議やテーマごとに关心のあるネットワークが集まる会議の設定。
- ・共有すべき情報の特定、情報共有の形式化、相互会員化による情報共有。

以上